油豆行情（……）

集市元豆六吊百至六吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
邊無共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一…紙 七九半紙 仝 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙罫紙 百枚 二十錢
一卷紙 四十枚續 十四錢

一全三組道具 一圓五十錢以上一圓七十錢
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一厨房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一…布
一縞毛布 一枚毛ノ 四圓以上六圓五十錢
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ヶ月以內… 一長期連揭減價面議

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二十九番）

滿洲日報

○報價目
每月收取八角代價所及送費人幷無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

告示

大日本帝國營口監督與　爲
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資幣制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓告爲當市之流通貨幣用此等銀錢元兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示
右諭通知
明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所 橫濱 神戶 東京 長崎 大阪 倫動 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 天津 北京 大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

橫濱正金銀行牛莊支店

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

長幸丸 三月廿八日着
山東丸 大沽、芝罘、門司、神戶行 三月廿九日發
相模丸 大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戶行 四月三日發
橫濱丸 大沽、芝罘、門司、神戶行 四月五日發

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行（電話廿六番）

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請親臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印幷　切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋綴子洋陳鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部
這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢彙代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二隻棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜並置有輪船一隻名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撮利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街 東櫃（電話九十五番）
西義順棧內 西櫃（電話架設中）

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十六番）

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部 河岸通（電話五十二番）

聲明丟失滙票

啓者於清歷正月二十二日有營口永同和在阿什河買和順昌滙票兩張計該號昌字十七號永記名下平銀五仟參百五拾兩整又拾八號功記名下平銀二千六百七十五兩整均係二月二十五日准期營口付銀此票係於正月二十二日由阿着合盛信局梢營不料路中丟失今已向該營分號掛號說明此二票無論失落何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報以爲聲明
清歷二月二十四日
永同和主人啓

失票聲明

啓者本號於本月十四日接省城來電云有阿什河寶泉長在阿由和順昌滙妥長記名下平銀一千零柒拾兩整係昌字二十八號至營交與本號代取此票托友携營不意行至奉天車站偶逢匪人竟設僞局詐去當即寄電之後本滙主業已來營即至同興宏內厲和順昌該二家自昔頗有相契刻間已將此滙欵如數使出倘有官商拾得此票者即作廢紙特此聲明
二月廿一日恒增通主人啓

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 國本主人啓

東清鐵道 周 裕和盛運輸局

（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年幷分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理才人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨 造成辦公實業家
學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖書、地理、歷史、理化 商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、體操
學額 五十名
資格 十五歲以上文理明通者
學費 特免惟寄宿者生自備饌費餘皆本校墊辦
入學 陰曆三月初一日
夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限
○欲覽各樣詳細章程可到本校索閱

一、東淸鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ

右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許 丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車場構內（電話四六番）

聲明假冒

協泰昌興記絲號大有昌洋雜貨號外面並無作保等情近因同字號最多恐有假冒本號圖章特此聲明
本號主人白

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年會與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

自造 煉瓦●瓦

並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候
三井物產合名會社 牛莊支店（電話六十六番）

●雜貨卸小賣商
●菓子製造販賣商 附日用食料品
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街 東洋號

倫敦電報

●**濠洲の饑饉救濟**　濠洲メルボルン市々長は日本饑饉地方救濟の爲めに寄附金募集を開始せしか既に一万三千圓の申込みを受けたり

●**倫敦の回航員欵待**　倫敦市役所は鹿島香取の兩戰艦回航の爲に渡英せる日本水兵を市會館に招待し饗應同市長は回航委員たる日本將校を官邸に招待して晝餐を饗する筈なり

●**本野公使の着任祝宴**　露國外相ラムスドルフ伯は日本全權公使本野一郎氏の着任を祝して大宴會を開き英國公使代理を始として各國の外交官等皆な出席せり露國皇帝陛下は信任狀の到着を待たすして本野公使に謁見を賜はるへし

●**露國の鐵道測量**　在露國デーリー、テレグラフ新聞通信員の報する所に據れは露國政府はタシケンド、トモスク間の鐵道布設の爲め當春期中に測量を開始すへしと云ふ

（以上三月十九日發電）

●**炭坑の同盟罷工**　佛國クーリエル炭坑に於ける四万六千名の同盟罷業者は會社側より申込みたる讓與條件を拒絕し不穩の有樣なり

●**波蘭の革命騷動**　露國ポーランドに於ては騷擾常に絕えず武裝せる暴徒の一隊は首府ワーソウの中央に於て監獄を襲擊して國事犯者を救ひ出し典獄一名を殺し二名を傷けたり又た暴徒は故意に乘客列車を脫線せしめ五名の負傷者を生せり同線路の鐵橋下に於て二百二十個の爆裂彈を發見せり

●**會議の其後**　モロッコ　アルジエシラスに於けるモロッコ會議は猶立ちすくみの姿にて獨佛兩國の代表者等は互に敵對者の手出するを待てり

●**英國皇太子出發**　英國皇太子及び同妃兩殿下にはクラーチより埃太に向つて發船せられたり

●**ウード將軍の報告**　華盛頓に於てはウード將軍の非律賓戰鬪報告書を以て米國軍隊に對する虐殺の嫌疑を解くに足るべきものと思考せり

●**林大使出發の盛況**　日本全權大使林男は倫敦を出發せり停車場は見送人の山を築き歡呼の聲は全市に轟けり是れ英國人が如何に日本に對して好意を有するかを示すものなりプラットフオームには外相代理サー、ベリーングトン氏ランスダオン侯令夫人等を始めとして朝野の名士數百名を見受けたり

●**兇徒の銀行襲擊**　武裝せる二十名の凶徒白晝公然モスコー市の銀行を襲ひ行員を恐喝して八十五万ルーブルを持ち去りたり

（以上三月二十日發電）

雜報

●**滿洲視察談**（下）
（山脇農商務省書記官の談）

▲滿洲の工業　滿洲內地は槪して水利に乏しきを以て工業地としての不便少からざるべし即ち彼の東淸鐵道の如き其機關車に要する水は各停車場にタンクを設備して數哩の違方より引き居るが如き有樣なり特に冬季四ヶ月間は全く氷結するが爲め內地に於ける工業の發達は殆ど望み少しと云ふべきなり併し南方地方に於ける旅順方面の如きは北方內地に比し氣候良く且つ水利多きを以て工業の發達も亦大に有望なりと云ふ既に營口には彼我共同になる大電燈會社あり加之大連に於ても大なる電燈會社の設備ある等電力を利用する大工業諸所に起らんとせり然るに滿洲各地に於ける麥粉の需用は莫大なるものにして且つ到る所麥粉の原料たる磨坊なるもの多量なるが爲め從つて麥粉製造事業は將來最も有望なるものならん見よ今日米國の麥粉は著しく輸入せ‥れつゝあるにあらずや左れば露國は先年ハルビンに麥粉製造所を設立せし以來漸次奉天にも之を設立し以て旅順駐在の要塞兵及び居留民に供給せん計畫なりしと云ふ之を要するに撫順煙臺の兩炭礦にして燃料の供給を十分ならしむるの日は南滿洲に於ける電力利用の諸工業乃至麥粉製造事業等は大に勃興するに至らんか

▲滿洲の交通　遼河を絕たざれば到底東淸鐵道の繁榮を期すべからずと云ふ說なども全く誤れるものなり勿論遼河の水便に依る貨物皆無なりと云ふべからずと雖も冬季四ヶ月間の如き遼河全く氷結して水運の便なきのみならず平時に於てすら遼河の水運に依る時は風向きの順逆水量の增減等種々の事情に依て到着期に大相違を來すこと少からざるが爲め從つて營口に於ける相場を利用すること能はざるのみか延着の爲め運賃に多少の相違を來し且つ又途中馬賊の來襲を受くる事あるなど一方ならず不便を感ずるに反して鐵道に依る時は運賃の一定到着期の定乃至危險の少きを以て滿洲人も一般に鐵道を信頼するに至れり故に貨物及び乘客等の輸送頻繁なる事誠に豫想以外にして今日に於てさへ軍隊輸送の餘暇貨物乘客の取扱ひ多きが故に哩數に比較する時は非常の收利なりと云ふ左れば遼河の有無を問はずして將來に於ける東淸鐵道の繁榮は豫測するに難からず併しながら遼河水運には自ら其特長あつて大荷物の急速を要せざる貨物の如きは之に依るを最も都合好となすも反之鐵道には又鉄道の長所あり況んや有望なる撫順炭礦を經營するに於ても既に鐵道の價値は莫大なるものあるに於てをや故に交通機關の完備は滿洲經營上一日も缺くべからざる唯一の武器なれば東淸鐵道の發達は今後愈々必要なりと云ふべし之を要するに三十六萬方里即ち我帝國の六倍以上なる廣大なる面積を有する滿洲は人口に於て我が五分の一にも滿たず僅に八百五十萬を有するのみ故に滿洲をして日本の今日迄に發達せしめんとせば現今の滿洲をして今三十倍も發達するの餘地を有する次第なり然るに目下に於ける耕作地の如きは全滿洲の二十四分の一に過ぎざる有樣なるを以て將來發達すべき運輸交通機關は東淸鐵道及び遼河のみを以て未だ滿足すべからざるなり宜しく進んで凡ての設備に伴ふ丈の用意と決心とを喚起せざるべからず之れ余か實地視察の結果大方の經世家に訴ふる所以のものなり（完）

●**奉天雜記**（一）　村捻生

奉天の事情たるや通信に歸客談に屢々其詳細を記載したるを以て今更クダ〳〵しく記述するの必要なく又重複の嫌ひあるべきを以て今は只社會に餘り知れざる事柄の一二を掲載する事にせり

▲郵便物の不便　當地に在留する我同胞は信書を各地へ郵送せんとするも最寄りに郵便局もなく郵便函もなく一通の手紙も一里內外ある停車場に態々人を派し又各地よりの來狀も一々停車場へ受取人を遣すが如き有樣なるを以て頃日某日本人は信書一通に三錢の手數料を徵して停車場及び市內を日々往復せる由にて幾等か其不便を償ふ事を得たりと云ふ因に電報も同樣の有樣なりと

▲滿洲博覽會　五月一日より此地に於て滿洲博覽會を開催する如く內地の新聞は筆を揃へて吹き立て居るも實地を踏めば山以も山伏大山伏にて漸く今より廿日計り以前大連民政署より役人二三名來り一部の官民及び淸國人を招待して其意旨を洩せし位の事にて其敷地は既に定まり居るも其他の準備に至つては一向緒に就き居らざるを以て五月に開會するが如きは夢想だに六ヶ敷事なりと某消息通は語れり

▲婦人協會　奉天軍政署警務課裏通に此看板あり余の如き始めて此地に來る者は婦人協會と謂へば無論此地の日淸人淑女の會合場にて娛樂又は公共的事業の爲め何をか議すべき所ならんと、聞けば驚く〳〵し立派な看板は乞食に錦衣を着せたる如く表面を裝ふ文字にして其裏面を窺へば藝妓酌婦の健康診斷所なりと云ふ何の爲めに斯くも仰々しき看板を掲げしやと其眞想を聞けば撿黴所では國辱とやらの話所謂羊頭を掲げて狗肉を賣るとは是等の言か扨も〳〵

▲關東公司の盛大　當地三谷氏の經營にかゝる關東公司は其支店を奉天に設置し此地にては關東洋行と改名し店員日淸人卅余名使用店內廣大にして各種の雜貨は一として備はらざるはなく日々數百の淸人物珍らしく集り來り商內も日に千圓內外ありて盛に營業をなし居れり余は斯くの如き實業家の倍々多く滿洲に來りて其事業を經營せん事を切望す

●**瀛船の初入港**　遼河も愈々解氷せるを以て昨二十二日本年の初航船として錦龍丸の入港を見たり同船は芝罘を二十日の午前第六時に出港し營口に直航せし者にして船客は凡て支那人にして總員實に七百四十九人ありたりと云ふ更に其積載貨物は殆んと雜貨にして其個數は千零九十七個なりしとなり尙は瑞國汽船一隻も昨日午前入港せるも乘客幷に積載荷物は不明なれは調査の上記載すへし

●**營口醫會假規則**　營口在住の日本醫師ら會集仝を催し營口に日本醫會を設立する事を決議し時に醫會規則を制定する事となりたるは當時の本紙に記載せし所なるか其後醫會規則は起草委員の手に於て左記の如くに編成せられたれは近々の中に更に一回の集會を催し其規則に付て遂條審議醫會規則として愈々確定せし上は軍政署に提出し其意見を聞くとなり委員の手に於て起草せられある醫會規則は即ち左の如しと云ふ

營口醫會規則

第一　本會は營口に開業する醫士を以て組織が名けて營口醫會と云ふ

第二　本會は公衆衞生の發展醫學の研究を目的とし傍ら同業者間の氣脉を通し圓滑を保つし爲めに設立す

第三　本會は官衙の許可を得て將來營口に開業する醫士をして勸誘入會せしむる事

第四　本會は品行を重んし篤實を旨とし共同一致一朝事ある時は衞生事業に從事する事

第五　本會は理事長一名理事一名を選擧する事

第六　本會の理事長は會務を總括し理事は理事長の事務を幇助するものとす

第七　本會の役員は毎半年を以て改選するものとす

第八　本會は毎月一回會員を招集し衞生醫制醫學醫術等の講演演說談話等をなさしめ相交智識の交換をなすものとす

●**岡山孤兒院へ寄附**　當地寶永茂は金五十圓を太古洋行東盛和西義順太古盛辰馬營口出張所は各金二十圓を三宅駿二鎌野宮五郎二氏は各金五圓を林鶴吉氏は金二圓を何れも今回岡山孤兒院へ寄附せりといふ

●**人物月旦**（中）　覆面郎

中村錠太郎君

橫濱正金銀行か遠來洋行の構內に二間を借受け牛莊支店を開設せしは今を距る七年以前即ち明治卅二年也顧れは當時は日本の勢力未た滿洲に對し微々として甚た振はす從ふて營口に在住する同胞も頗る少數にして總体に於て五十名にも達せす固より是等の同胞は其人物に於て將た其資力に於て今日の在住者の類に非す比較的に立派なりしと雖も何を云ふても五十名にも足らす其取引か如何に活潑に營まるゝとするも營利銀行の立場より考ふれは爲に支店を開設して御用を仰せ付かるには餘りに大膽なる仕業也且つ夫れ一方には既に二年の以前に於て開始せられたる露淸銀行支店あり例の露西亞式手段に訴へて八方に掻き廻したる結果勢力隆々として斯界を風靡し容易に近寄る能はさる者あり即ち復た同胞以外に切込むは當時の事情に顧て到底不可能事たるを豫想せさる可らさると共に愈々正金銀行か營口に支店を開設するに至らは露淸銀行支店に於て其張繩區域を橫掠せられさる無きかを案するの餘り非常に反動心を昂上して突飛なる競爭を開始し露國一流の放膽なる遣口を以て終に同胞の部面に迄も突喚を企て奪て以て更に自己の領分に加算せんとの野心を起さゝるとも限らさるに於て正金銀行牛莊支店の開設は少からさる冒險の一なりき或は曰く橫濱正金銀行は當時に於て牛莊に支店を開設するを以て甚た理由なしとなしたるもの丶如く先是在住同胞より露淸銀行の不親切を記述し一同か困難の事情を詳述し屢々其開設を依賴するも「何れ遠からさる」中にの一點張にて常に謝絕し來れりと夫れ或は然りしならん顧ふに本店に於て愈々開設を決心せしは將來に對し深く囑望する所あると共に營口在住同胞の懇請、遂に辭す可らさるに至りたるの爲のみ當時に於て利益を見る無きは固より覺悟なりしや推して知る可し

中村錠太郎氏は當時會々上海の正金銀行の支店に在り其副支配人を勤め而して本店に於て愈々牛莊支店を開設する事に決定するや彼は其支配人を抑せ付けられ開設を命せられたり於是彼は行員四名を從へて遠來洋行內に牛莊支店を開設し正金銀行の支店事務を開設せり正金銀行か猝然として營口に牛莊支店を開設するや果然露淸銀行支店は金利を引下け手數料を低廉にし更に橫風なる從來の態度を一變して力めて溫容を裝ふて顧客に應接するなと俄然として開業二年以來の方針を改めたり云はすもこれ正金銀行牛莊支店排除の爲と知られける蓋し其意に以爲らく正金銀行は其資力に於て其手腕に於て到底吾か露淸銀行の比に非るに加へて新に來營せし行員共は更に營口に付て何の經驗も無し願くは今に於て戰を挑み一擧にして押し潰さん少くも斯界に對し遂に施すの術無きに至らしめんなりと露淸銀行支店に睨まれたる正金銀行支店こそ迷惑なり眞に露淸銀行の想像の如く正金の連中は營口に對しては未た寸毫の經驗無き者而して其競爭力に於ても亦當に一斧を輸せさる能はす殊に損益を全然度外に措て係る如き其向ふ見すの競爭に於ては正金銀行は到抵露淸銀行の敵に非し吁進んで露淸銀行支店に應戰せんか必敗知る可きのみ退て同胞の依賴に甘せんか現在に於ては假令利益は見込まさるにもせよ仕事とならさるを奈何せん所謂進退維谷まり煩悶苦腦し日々頭痛鉢卷に其日を送りたるは實に當時に於ても其支配人たりし彼か境遇也露淸銀行か斯の如くにして先つ正金銀行の荒膽を奪ひ靜に其出方を窺ふと同時に後圖に付き更に彼是れと考案を回らせるに際し正金銀行支店には一大不幸到來せり即ち團匪事變是也若し夫れ續て直に起りたる露國の營口占領は露淸銀行支店に對して百万の援兵とも謂ふへく而して正金銀行支店に對しては最後の鎚のと謂ふ可かりし事茲に及へは正金銀行牛莊支店は絕對に露淸銀行支店の敵に非す唯た其爲す所に任すの一あるのみ其爲す所に任せんか美味は到抵正金銀行支店の口に入る能はす可憐彼は毎日四名の行員を鼓舞督勵して露淸銀行營口支店の殘肴を拾ひ集め纔に以て正金銀行牛莊支店の命脈を保持せり儲ても情け無き境遇にはあらさるなかりしか願ふに當時の正金銀行支店は宛然たる今日の露淸銀行支店にして今日の正金銀行支店は則ち又た當時の露淸銀行支店也所謂相身互なる事か獨り武士の道に限らすとせは今日の正金銀行支店なる者は當年の大銀行支店に對し當に一掬の同情を灑き少しく之を日向に導きて然る可らさるか

當時の正金銀行支店か今日の露淸銀行支店にして今日の正金銀行支店か當時の露淸銀行支店なれは今日の正金銀行牛莊支店支配人たる中村錠太郎氏は當時の露淸銀行支店長たるシユミットならさるへからさるか彼は當時に於て果して今日のシユミットたるを豫期せしか彼か當時に於て露淸銀行支店の殘肴を求集して以て纔に正金銀行支店の露命を維持せしは豫め今日に期待する所ありたるか爲なるか果して然らは彼は慥に『シユミット』以上の人物と謂ふて可也兎に角くに當年の冷飯食は斯界の大立物となれり彼も亦た仕合せなる男ならすや

●**無題錄**　無名氏

▲昨日は久しぶりに雪を觀たり、然れども憂ふる勿れ同時に瀛船も愈々入港した乘込の同胞先を競ふて上陸する者、少數ならざりし

▲雪降らば降れ、風吹かば吹け閉ぢの營口は昨日以前の營口也今日以後の營口は榮港の營口也、吾人は笑つて新來の同胞を迎へん

▲現在營口に在住する同胞は媾和の成立に忍び遼河の結氷に耐へ、內地の開放に迷はず頑として動かず依然として居住する者、當に之れ滿洲在住同胞中の雄鎮也、三省幾萬同胞中の花也新來の同胞は復た當に謹んで其敎を請ふ可き也

▲政府の政策を非難する勿れ、外交の無能を憤慨する勿れ、政府をして非難せしめよ、外交當局者をして憤慨せしめよ、吾人は彼等の政策の爲に行動を左右せらるる者に非ず

▲彼等の自由意思を以て吾人の行動を左右する者と爲すは自信無きも亦た甚しからずや吾人は彼等をして吾人に從はしめざる可らず彼等は吾人に從はさる可らず吾人彼等を吾人に從はしめ彼等吾人に謹んで從ふて滿洲の經營即ち初て成る、彼等は長袖也滿洲に付て何事をか知らん

●**鹿爪錄**

日本の文章は十人十色で不統一を極めて居るこれは何れの國も同じであらうが日本は殊に酷いやうだ或は同一の詞でも其書き方が一通りや二通りで無い▲例へば「愈」といふ字である或者は單に愈と書き或者は愈々と書き或者は愈ゝと書き或者は愈よ或者はいよ〳〵と書く一寸擧げた所で五通りもある▲併し此頃は紙面の多少整頓して居る新聞では其亂雜の中にも自ら一家の流義があつてチヤンと用ゐ方を一定して居る即ち大阪朝日は單に愈と書き大坂毎日はいよ〳〵と書き日本新聞は愈ゝと書く等の類である▲元來愈とか益とかいふ字は一字でいよ〳〵とかます〳〵とか讀むべきであるので大坂朝日が單に愈と書くのは勿論正當である併し愈と一字書いては何と無く物足らぬ氣持がする左ればとて愈々と書けば事々しく見えるので日本新聞などは愈ゝと書く事に定めて居るさうだ▲大坂毎日のやうにいよ〳〵と書けば最も無難ではあるが謹嚴莊重の文に迄自家の流義を適用する結果四角張つた文字中に蛇のやうなヌラ〳〵した字が見えるので極めて目觸りである（口口生

汽車開行

▲上行車時刻表

車站名	午前點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五
[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
北京至塘沽	下一二、四〇	下八、三〇
天津至唐山	上一一、[illegible]	下五、[illegible]

稅關手續

一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
營口ブリツジ…　…川鐵…

天氣　營口地方入氣豫報　自三月廿二日午後六時至三月廿三日午後六時

小説

新作小説 おとし胤　德田秋聲

（十八）

「何も、其樣なにびくつくことは無い。氣を落着けるが可いさ。何もお前が惡氣があツて爲たのぢやないといふことは解ツてゐる。多分惡戯だらうさ。」

と巨漢は、顔にも姿にも似ぬ温順な聲で謂ツて

「けれども、俺の方からいふと一大事だ。俺が此うして見てゐたから可いやうなもの、もし俺が見てゐなかツたら何うだ。大事の手紙は、お前の爲に。其の表書の人に渡らなくなる……

……すると表書の人は、非常な酷い目に逢はなければならんのだ。全体お前は、此の手紙を何樣な手紙と思ツてゐるのだ。」

健三は、大地に手を突いて頭さへ擡げぬ。彼は、手紙の主を此の巨漢と知ツて、たゞ氣慚しくなツて、穢れた心の妄念の爲めに、よしなき事を爲出來したのを悔むばかり。

「お前も、那のお墓に詣る位だから、滿更光さんを知らぬ譯でもあるまい。知ツてゐたら光さんの爲にならぬことは爲たくあるまい。一体お前は何んぢや？」

それでも健三は何んとも謂はぬ。たゞはら／＼と涙を零した。自分の罪を悔ゆる口惜涙だ。

其の殊勝な躰を見て、

「何んだ、泣いてゐるのか。」と巨漢は眉を顰め良刻默ツてゐて「いや、お前は正直者らしいな。一時の出來心といふなら、私は深く譴めはしない。譴めんから正直に謂ツて呉れお前は何んぢや、何んの縁故があツて那のお墓へ詣るのぢや？」

此く問詰められては、健三は何んとか謂はぬ譯に行かぬ。

「正直に何も彼も打明けて了はうか。」

と思ツても見たが、考へると放心した口は利かれぬ譯だ。もしも此の人が、光さんを迎に來た合田といふ者であツたら。甚だ事が面白くない彼は巨漢の人躰から察して、これが合田といふ者では無いかと思ツたのであツた。或はまた合田の仲間の者ではあるまいかとも想像したのであツた。何しろ其から糺して見た上で無ければ滅多なことは謂はれぬ。そこで彼は涙を拂ツて儼然として巨漢に向ツた。一時狼狽と恥羞の念に攪亂された彼の心は、漸く其の本性に立歸ツたのである。

健三は先づ謂ツた。

「俺が非かツたところは、幾重にも謝まりますだ。何を隱しませう、少し仔細があツて俺が其の手紙が見たかツたのでございます……それも見やうか、見ずに光さんの手に渡さうか、何方にしやうかと思ツて迷ツてゐたのですけれども、兎に角一時俺が取ツて置かうと思ツたのだ。けれども貴方は、何んの用があツて、光さんに此の手紙をお遣しなさるのだ、それも郵便だとか使なら不思議も無いが、此樣な箇所に置いてさ、妙なことを爲さるもんぢやないか。」

彼は、見事巨漢に逆捻を喰はせたのである。有繫に巨漢も、此の至當な反問には、ぐッと窮ツた。そして其の大人らしい口振、落着いた躰度に驚いて、今更のやうに熟と健三の顔を見詰めた。

「成程最もな疑念だ、俺にも少し秘密な譯があツて此うしたのだ。」

「秘密？……」

と健三は眼を丸くして、息を凝らした。

「然うだ。」と巨漢は、點首いて「俺だツて、何か秘密が無ければ、此樣な危險な眞似はしやしない。」

「其の秘密といふが、俺の腑に落ちない。何んだツて、其樣な秘密な眞似をなさるのだ。」

「何故と謂ツて……」

と巨漢は愈しどろもどろ。

「其を聞かぬうちは、俺は何んとも謂ひませぬ。何故といふに俺も非かツたが、貴方も非い！……非いのは五分／＼だ。」

と健三は、斷乎謂放ツて肩を聳えさせた。

巨漢は、にツこり笑ツて、

「成程！これはお前のいふ通だ。いや、お前は中々しツかり者だ……後來見込のある奴ぢや。」

「奴？……　奴とは何んだね。」

と突ツかゝる。健三は、此の巨漢か、合田の仲間の者かと思ふと、何やら胸糞が惡くてならないのであツた。

巨漢は、質の寛大い人と見える。また口元に微笑を漂へて、

「これは、俺が言過だツた、宥して呉れ、な！」

と謂ツて。少時考へてゐて「俺はお前を信じて頼みたいことがあるが、何うだ、聞いて呉れるか。」

「そりや頼の次第に依ツちや聞きますだ。」

と健三は、無愛想に、そしてけんどんに謂ツた。

「お前は、光さんと懇意かな。いや、那の墓へ詣へるからは、こりや非常な懇意で無ければならん譯だ。」

何んの故か、健三は顔を赧めた。そして垂頭いて了ツた。

●骨董錄

一昨年九月頃の事かと思ふ全國の新聞は筆を揃へて旅順陷落遠かるまじと云へる樣な記事を載せた、現に當時予は大阪に居つたが、同地では天滿橋の欄干上へ旅順陷落の四大文字を形はして同要塞落去の公報一たび達せば直に之にイルミチーションを點火して一大祝捷會を擧けんとて準備おさ／＼怠りなかりしが、待てど暮せど其報到らす其中遼陽占領の公報達せしかば遂に旅順の二文字を遼陽に換へて祝捷會を擧けた、同市の大早計はチト世間の胡慮を買ひし氣味なきにしもあらざりしが兎に角當時全國の人氣は斯樣なものであつた、所が斯かる人氣の中で、是れは一種の商人氣質とも云ふべきか、旅順陷落の遲延を豫想して大連へ向け冬營用の木炭を輸出し一大利益を占めんと目論だ内外商人が大分あつたさうだ然るに、案外にも同要塞が去年一月一日に至り降伏せし爲め、赤くならぬ炭の爲めに何れも手を燒いたそうな、此種の失敗は聞ても溜飲が下がる程に小氣味が好い、現に予が知れる中で外商では有名なるサミユル、サミユル商會の神戸支店長の某である某は同港の外商中では最も幅の利いた男であつたさうだが去年種々の失敗の爲め數万圓の遣ひ込みが暴露し遂に刑事被告人として法廷に立つに至つた其失敗の中に此木炭の一件も含むで居るさうだ、其れから内商の中では現に去年迄當營口の南永世街に立派な看板を掛けて居つた澤井組である、同組では此炭の爲め二三万圓の負傷イヤ火傷であるとか聞いた、去年夏中大連から營口へ木炭滿載の汽船が二三隻は確に這入つたことを予は知つて居る、して見ると今日我々が朝夕焚て居る炭の中には此種の炭があるかも知れぬ、若し此種の炭であつたとすれは失敗商の怨みの餘で失火汰沙因などに爲らぬやう御用心／＼（蒼然生）

投書かご

◀同好家に告ぐ　二十一日の新聞を御覽の方は凸坊の雁うちの記で雁田村の沼に雁が幾十萬鴨や白鳥や鷗を引具して對陣して居ることを大概御承知でしようが先度は初てのことで地理も判らなかつたのみならず意外に敵軍が大勢なので唯面喰て彼處此處と周章へとまひに一羽の獲物なしに引揚た殘念さに去る二十日家人兩三名と第二次の襲撃を試みたが前度とは違ひ漸やく鴨五六羽射止ましたが是れでは餘り功名にもなりませんから來る日曜日には一擧して雁軍に對し突貫を試みようと云ふ計畫です就ては同好の諸君がありますれば御案内旁々御同伴致しますに依り軍政署へ屆出の都合もありますゆゑ土曜日の朝迄に綏定門街新玉號倉庫（電話一五七）へ御來訪を願ひます（花村生）

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未た架設に至らさるものは重て申込を要す

明治三十九年三月二日

營口軍政署電話局

盛京寫眞倶樂部

第一條　本倶樂部ハ盛京寫眞倶樂部ト稱ス
第二條　本倶樂部ハ寫眞術ノ研究家ヲ以テ組織ス
第三條　本倶樂部員タラントスル者ハ部員ノ紹介ヲ要ス
第四條　本倶樂部事務所ハ假ニ營口元神廟街三船寫眞店内ニ設ク
第五條　本倶樂部ハ同好者相互ノ娯樂ヲ謀リ兼テ寫眞術ノ研究ヲナスヲ以テ主眼トス
第六條　本倶樂部ハ毎月一回（第一ノ日曜）假事務所ニ品評會ヲ開キ部員ノ撮影シタル寫眞ヲ蒐集シ出席者ノ互撰ヲ以テ其等位ヲ定メ優等ナルモノニ限リ是ヲ假事務所ニ陳列シ公衆ノ縱覽ニ供スルモノトス
第七條　本部員ノ撮影シタル寫眞ハ此ヲ假事務所ニ保管シ置キ希望者アル時ハ（撮影者ノ承諾ヲ得タル上）相當ノ代價ヲ以テ讓渡スル事ヲ得
第八條　第六條ノ優等品ハ次回ノ品評會ニ於テ抽籤ニ依リ部員ニ頒ツモノトス
第九條　本部員ハ假事務所備付ノ器械附屬品及ビ暗室等ヲ隨意使用スルヿヲ得ベシ
第十條　本部員ハ會費トシテ毎月銀三十錢ヲ出金スルモノトス

明治卅九年三月十八日

盛京寫眞倶樂部

發起人
稻垣伸太郎　黑澤禮吉
相部政太郎　前田鋠次郎
黑澤茂雄　後藤䮒太郎
齊藤健太郎　小河原政藏
岩間善五郎　小林隆雄
神崎富三郎　上野正則
三船秋香

爲替券無効廣告

清曆本年正月二十二日弊號は在阿什河和順昌に於て本年二月二十五日營口にて支拂ふべき爲替券即該號昌字十七號永記名下銀五千三百五十兩仝十八號功記名下銀二千六百七十五兩の二通を買受け去る二十二日阿什河より合盛信局に托し送附の途中之を紛失せり依て直に該營口分號へ此由を説明し以后該券發見するとも無効に御坐候間此段廣告候也

營口　永同和主人啓

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖莊藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度く存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也

一、紙判は美濃紙大
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、沖莊藏在沖繩縣那覇地方裁判所官舍
一、御問合の件あらは左に

新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則
大清通運公司安田貞藏

同志友人　敬白

夜警決算報告

一銀二百六十三圓五十錢　二月分徵收高

内譯
一銀百五十圓　公議會ェ苦力費支拂
一仝三十圓　新聞廣告料、領收書用紙
一仝二十一圓二十錢　臨時雇員給料、帳簿料、

差引殘金六十二圓三十錢

右及報告候也

第一派遣所　夜警委員

お料理
滿月　平の町（電一六二）
滿月支店　平安町（元都樓跡）
店主　吉本[illegible]

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町　日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町　日本館支店（電話十九番）

各位樣

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より

△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
姙婦の入院を諾す（取扱主任産婆大鐙しげ子）

院主　森燔
醫長　鈴木昌平

營口永世街（電話一五五番）

開業廣告

船舶賃借賣買周旋業
貨物運送仲立委托販賣業
石炭販賣及輸出入業

神戸四國や商會代理店　西野商店

神戸市榮町五丁目一七

明治三十九年三月

西野通

營口

本店　彌生　電話四一番
支店　彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主　宮下只七郎

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

御手輕料理

一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月　日

營口元神廟街二〇九號

翁亭

材木販賣
荒物

秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

雜貨
すし米
醤油
清酒 大樽 半樽
木炭

營口西北街
阪神組

CARTRIDGES.

We have just received a large assortment of Sporting Cartridges for 8, 10 & 12 bore Guns which we are prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

Yano & Co.
矢野洋行
Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候
謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀内大藥房
淺田飴 あさだあめ
肺痨痰喘氣急傷風後痰嗽小兒風後病後體弱肺病一切立見奇功
◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥
有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣
永世街 東瀛大藥房
房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦
營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付貰大和
酢
醤油瓶詰樽詰
菓子鑵詰色々
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

ゼム
財茉口中香藥
ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑
財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也
大日本東京
山崎愛國堂
大藥房處修
大清國發賣處
淺野大藥房
營口永世街(二本町)
各國有名靈藥總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

北京
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

御旅館
豐陽館
上海(電話一〇六番)
日本郵船會社荷客取扱
歐米流船乘船取扱
館主 米田藤吉

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用
並西洋料理

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔 接待優遇懇切
開放全時一開業 奉天小西門外ナ街路北

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL EGINNEER.

Plans and specifications made to order.
ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

發賣 料木 標子 木板
清國營口二本町二五五號
塩川商會
主任 鹽川峯吉(電話一三六番)
遼陽 西門內 鹽川商會
●建築用材北海道產松大角(自廿五尺至三十尺)一万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

大連市信濃町卅九號地
旅人宿 東館
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎(電話百七十八番)
即席和洋料理 東京樓支店(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

鐵嶺 西門外大通
御旅館
福屋
御料理

廣告
營口日本館奉天支店
私義今般都合に依り料理店を廢業し御用達商專門と致候爲め左記之商號に改名す
三月二十二日
奉天城內
三野商店

時刻

唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇〇	下四、五五
溝邦子至新民	上三、	下六、五七

（保管可申候）
市場北三階樓
時計店ノ二階
宮原公司

ペンキ塗請負京阪組
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
門會街東
喜場豫報

昨日の氣温　昨年との比
最高温度三十四度二　低十九度九
最低温度二十四度八　低一度六

宮門抄

二十四日
戶部　宗人府　正白旗值日　宗人府引　見四名　吏部六名
太僕寺十名　正紅蒙二名　朱侯致祭　明陵起程日期　趙惟熙
李傳元　伺候　召見　宗人府奏派立總族長　派出振貝子
召見軍機　趙惟熙　李傳元　財政處遞封奏一件
二十五日
禮部　太常寺　正紅旗值日無引　見　慶王因伊子載振謝充總族
長　恩　崇壽劉永亨前往　東西陵請　訓　分省補用道尹銘
綬謝　恩　何雲翥沈曾桐陳伯陶伺候　召見　紹昌謝寬免處分
恩
召見軍機　沈曾桐　陳伯陶　何雲翥

上諭恭錄

二十四日奉
旨翰林院侍讀學士著黃紹箕補授欽此
旨太常寺少卿著裴維侒補授欽此
旨鴻臚寺卿著楊樞補授欽此
二十五日奉
上諭三月二十日祭
先農壇遣恭親王溥偉恭代行禮欽此

奏議

政務處王大臣奏爲遵　旨酌擬寬籌舉貢生員出路請通行各省一體遵照辦理摺（續）

一已就揀選舉人准令報捐分發免交補班銀兩查定例舉人近省三科遠省一科以上者皆准就揀以知縣註册惟揀選並無班次徒有虛名又現在科舉既停近省舉人並有未能註揀者自宜量予變通以示體恤擬請嗣後各省舉人不必限三科均准以揀選知縣註册並由吏部酌定班次選用其中式已過十年有願分發到省者令交分發銀兩即准分省試用各項貢生就職照此辦理一截取舉人請毋庸再用教職查舉人截取向用知縣教職兩途現科舉停後專重學堂教官事務愈簡上年吏部奏准裁去復設一缺擬定選班以師範生間補截取教職得缺無期同於廢棄查直隸州州同及各項壚庫大使或爲舉人應得之官或爲大挑知縣借補之職擬請嗣後截取舉人除用知縣外兼用直隸州州同壚庫各大使以廣登進其截取舉人已奉　旨以知縣用者並請准其隨時分發毋庸扣限俾得及時効用至恩拔副貢生向例准以直隸州州判就職註選而歲優兩貢不與未免向隅且直隸州州判額缺又甚少殊覺擁擠並請量加推廣凡五貢均准一體以按察司壚運司經歷散州州判府經歷縣丞分別註册選用如捐交分發銀兩即准分省試用　一生員考職二十九年管學大臣奏遞減科舉摺內生員准比照已滿吏考職用爲佐貳雜職分發省分試用等語查定例貢監考職皆係令來京考試惟各省生員多係寒士若概令來京考試殊不足以示體恤且人數過多宜加限制擬除年輕諸生應挑入學堂及現充各學堂教員現入師範學堂現送出洋遊學各生外其餘生員均於考優貢之年准令各州縣會同教官愼加遴選保送由各督撫會同學政認眞考試取其文理暢達事理明晰者大省取一百名中省取七十名小省取五十名其保送人數約計照取額十倍爲斷毋得過濫至每州縣應送若干名由該督撫等分別酌定先期飭遵取定等次將所取各生姓名三代年貌造册咨送吏部一等以巡檢用一等以典史用分別註選如願捐交分發銀兩者並准分省試用亦截至壬子年止以示限制　一每科會試中試之貢士有未經覆試者有覆試後未應　殿試或　朝考者向例於下科補考今科舉既停擬請准令該員等取具同鄉京官印結赴禮部呈請已經覆試或　殿試者即開列所考等第甲第名次帶領引　見懇　恩給予出身分別錄用未經覆試者亦請查照新章免其覆試引　見錄用其已免覆試之舉人並請一體准其照例就揀以免向隅以上各條如蒙　俞允應由臣等咨照吏部學部禮部通行各省一體　照辦理謹恭摺具陳伏乞
皇太后　皇上聖鑒謹　奏光緒三十二年二月十五日
奏奉　旨依議欽此

倫敦電報

●俄國歡迎日公使

駐俄日公使本野君刻已抵俄京俄外相羅穆斯土兒夫伯特張盛讌賀其來任英國署欽使幷各國外交官皆列席聞俄皇優待日使不待信任狀之到即先賜謁見於該公使云

●俄國測繪鐵路

據在俄國參里帖列古拉新報訪事員報云俄國欲建設自他洗虔多抵德穆斯克之鐵路已定於本春開始測繪云

●波蘭土動亂未靖

在俄國波蘭土地方紛擾尙未鎭靜一股匪徒各持兵器在蛙魯梭襲擊牢獄殺害獄吏救出革命黨員之在其中者又傾覆火車傷乘客五名並在鐵橋下發見炸藥二百二十五磅

●英國餞日使之盛况

此次駐英日本大使男爵林君陛辭由倫敦就回國之途蘭斯達烏侯幷其夫人及以下朝野縉紳皆往送行抵車站者數百名沿途觀者如堵歡呼之聲震動天地極爲盛况日英交情之輯睦於此可見一斑云

（以上西三月二十日發）

中外要聞

●請發探礦執照　宣化府溝崖地方出有金礦前因法竊探事經本地紳商查知昨有職商閆國勳聯合衆商具禀商部擬即集股自行開辦請發給探鑛執照以便早爲開採而保利權昨已將禀投遞商部尙未批示也

●覲見遲期　日前墨國義國欽差至外部會晤稱欲於本月二十三日　覲見　皇太后外部大臣答以現値　兩宮聖體違和俟　皇太后　大皇帝愈後本大臣再奏請　覲見日期等語

●擬添派護軍　現聞八旗兩翼前鋒護軍統領添派護軍每旗添兵四十名在紫禁城內値班日昨八旗護軍統領謁見慶邸慶邸已允爲面奏矣又聞內廷八班侍衞及鑾儀衞等官准令分班入學演練槍砲刻在議訂章程不日即見明文

●開總會議粵漢路辦法　據粵省電云粵漢鐵路公司於月之二十一日邀請紳董股東開總會集議决定該公司選任辦事員辦法之外定奪二事如左

一、該公司須先籌欵一百三十二萬元以便早日開工
一、宜禀請商部代奏允准早日開工

●越南請設領事　外務部接到越南華商來電請在該處設立領事官署刻署內諸鉅公以該埠商賈日增宜派專員駐越保護自應酌核奏請揀派駐越領事保衞商旅云云

●鄂督要電　昨鄂督張香帥電致政府略謂中俄議約之事俄有意外要索各款務請極力指駁幸勿任其欺詐以保主權南昌教案其曲在彼法使若有無理之要求萬望據理爭論不可受其籠絡而全國體云云尙有電文甚多不止此二事其餘探悉再爲登錄

●緩鑄一兩重之銀元　聞財政處消息張香帥曾電奏京內鑄造一兩銀圓周流行使業經奏明在案茲以北洋大臣電達本部以鼓鑄銀幣仍照北洋舊式頗敵他國銀圓若一經改鑄誠恐銀價跌落於市面反多不便云云是以一兩重之銀圓暫爲緩鑄云

●英國對於禁華工問題　英國殖民次官查齊爾君日英國政府俟各礦廠主招工文憑期滿（按政府發給文憑於礦廠主以允許於限期內招華工入南斐洲）擬一律嚴禁華工入南斐洲杜蘭斯巴爾國至於辦法則一面飭令英駐清各領事勿幫助招工一面凡英屬南斐洲內閣所遞之擬議如有於英本國政府之根本主義（卽自由與體面）則由政府一律批駁可以達禁華工入境之目的矣
查齊爾君向南斐洲礦廠主勸告略謂各礦廠主等妄勿嘖嘖于華工事務望設法招募他國工人以代華工該人不似華工之如奴隷云云

雜報

●夜刼破案　啓文門裏有老媼葉姓年逾古稀龍鍾特甚家僅中背撫一幼女孫度日前宵二更時突有二賊闖入即用木板壓媼身撲以破絮杜塞女口遍搜室內財物幷一皮箱荷出擲箱於溝取衣寄於埠外附姓屋中詎二賊與媼同里相居一係回民馬小辮一係回民王印魁媼知之次晨赴衙署鳴狀據供箱內置有十元手票三張五元手票八張五角手票八十餘張云云軍署秘派警監胡璽亭緝賊胡知王印魁之居處飭將該犯掩捉到案馬因知而謀遁卓午出埠東門適被巡勇一人立拘到案二犯一鞫盡服惟手票銀圓二宗百拷無供只供有銀圓一元四角馬取一元王取四角云云

●遊者當戒　四喜班某校書花叢中斲輪老手也與某商人相識有年後又他遇某校書妒之前數日忽於晏海樓會見乃遍往續舊某商不得已偕至其妓館某校書乃自毀其容幷以烟膏投於口中對商云爾從前借去萬餘金幷手鐲一付今日非交還不可某商惟百計支吾而已幸有同遊者爲之緩頰始抱頭鼠竄而去沈溺花中者可以返矣

●感德求報　阜有門東北横街第四甲居民有張天洪者毋敎甚嚴客臘歲杪洪備購買年貨手票五元距暮歸丟失懊喪無已全家不敢向毋明言幾廢食寢此票乃被其鄰人黃世才者檢拾於途黃之爲人輕財重義前年冬季曾爲本埠恩記魚舖代搞商籌竟剩餘利壹萬餘元該舖東主酬黃手票三百元黃決堅辭不受從此愈爲契好且一毫不苟知之者故皆稱其爲人云云是夜黃拾得手票洪往認領酬以謝儀黃竟誓決不受故洪某感恩不忘逢人說項云

NEWCHWANG, FRIDAY, MARCH 23, 1906.

The overcast sky attended with a fall in the temperature too sharp for confortable has followed in the wake of the brief balmy spell since last Wednesday. A slight snowfall coming on about noon yesterday and continuing far into the evening has added to the unpleasantness especially of the foot-passers, the melting snow turning the roads quite muddy. No vessels have yet come within sight, save for a number of boats carrying on ferry traffic across the River.

We are informed that the subjects dealt with at the general meeting of the Newchwang General Chamber of Commerce last Tuesday concerned matters of routine principally. In the absence of Mr. H. A. Bush, Chairman, Mr. Ross Thomson, Vice-Chairman, presided and, after regretting the Chairman's absence, in the course of a very able speech, he gave a concise review of the work done by the Chamber during the few months since its inception and further outlined the possibilities of improvement in business generally, basing his prognostications upon comparative statistics brought forward in a logical disposition.

A matter of direct importance to all interests in the port was then discussed and entrusted to the care of the Committee, the details of which would seem hardly opportune for publicity just at this stage but shall be forthcoming at the right season and that before long.

The 7th. Newchwang debate held last Wednesday evening was conducted for the mere sake of purely argumentative value, there being no questing whatever of the awakening of China in the right manner being anything but detrimental to the Western nations. The non-detrimental side carried the evening by a narrow majority.

It was decided after the debate to hold the last meeting of the season at the Assembly Rooms at a date to be fixed later on and notified to the members. Ladies will be cordially invited to take an active part in the coming discussion on the merit of 'woman suffrage.'

A unanimous vote of thanks was tendered to the genial host the Rev. Mr. Sprent for the hospitable accommodations afforded to the Society at all but one of its sittings, the initial session having taken place at Capt. Sloss's.

Dr. Christie of Mukden came to the port from Tientsin last Wednesday evening and is staying with Dr. and Mrs. Daly. It is understood that the main mission of his visit lies in perfecting arrangements for the transport from here to Mukden of the lumber intended for erecting the new hospital under contemplation.

Rev. Mr. and Mrs. Stobie with their three children left last Tuesday afternoon for Kaiyuan, whence, it is learned, the family will proceed north to Ashiho to settle down there permanently as soon as the road is open.

Mr. Geo. Gleason returned to the port last Tuesday afternoon from a 12 days' trip to Tairen.

A circular went the round a few days ago to the effect that, under instructions received from the Railway Telegraph Head Office at Tientsin, the Yingkow Branch will accept for re-transmission through its wire only the government telegrams, Chinese or foreign, and also the urgent paid messages in exclusion of the ordinary paid class.

The Famine Relief Fund raised by the "Manchuria Daily Report" aggregated to Y. 4,792.95, out of which Y. 17.75 has been taken for the incidental expense, leaving Y. 4,775.20 representing Y. 4,727.50 in gold yen at the then current rate of exchange. This handsome sum was sent in two lots free of charge through the courtesy of the Yokohama Specie Bank to the Association for the Relief of the Three Prefectures on the 11th. and the 13th. inst.

We offer our thanks again for the sympathy extended by the foreign community to the benevolent undertaking.

(Mar. 22, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	99¾	LONDON	Bank T.T.	2/- 5/16
	" Dem'd	100		" De'd	2/- 3/8
	P'ate 15 d/s.	100¾		Cr. 4 m/s.	2/1
SHANGHAI	Bank T.T.	71	AMERICA	Bank T.T.	49¼
	" Dem'd	71¼		" Dem'd	49½
	P'ate 15 d/s.	72¼		Cr. 4 m/s.	51
TIENTSIN	Bank T.T.	102½	Bar silver	- - -	30⅛
	" Dem'd	102¼			
	P'ate 10d/s.	101¼			

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 料理　第一營口ホテル　元神廟街九十六號
旅館　第二營口ホテル　河岸通り
料理　第三樓　元神廟街三十二號　店主 粕屋忠兵衛
料理　入船亭　永世街百八十三號　谷初次郎
旅館　日營ホテル　河岸通り　店主 井上源吉
料理　東京館　永世街八十六號　店主 村上京四郎
旅館　東茂旅館　西北街百七十三號（正金銀行西三軒）
料理　千鳥　元神廟街百三十三號　店主 吉住善藏
料理　沖の島　永世街百六十五號　店主 中川彌三郎
料理　吉野亭　永世街八十六號　店主 坪田正好
旅館 料理　高砂ホテル　高砂亭　西北街　店主 片山小みつ（電話一四五番）
旅館　竹村館　永世街二十二號　店主 麻田久二（電話五一）
旅館　大和館　永世街三十四號　店主 前田九一郎
料理　滿洲樓　南永世街第十號　店主 直塚勝一
料理　萬梅　豊濟門街第百〇四號　店主 田島彌助
料理　まんなをし　永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡　店主 和田常松
東京 生蕎麥 一式　東庵　元神廟（電話百五十九）
旅館 料理　金城ホテル　永世街百六十六號　第二金城ホテル　永世街百六十六號　店主 齋藤富次郎
料理 旅館　醉花園　澁谷旅館　永世街百二十七號　店主 澁田留吉

料理　喜樂亭　營口元神廟街
旅館　東雲旅館　永世街七號　店主 谷口今朝太郎
營口軍政署 御用旅館　東雲　主任 谷口今朝太郎
さるそば 第一更科　營口元神廟街
さるそば 第二更科　永世街鶴の湯角
御料理　叮嚀専一　柳亭　豊濟門街二三　店主 玉岡益人
御料理 並ニ温泉　一力　營口永世街　店主 堀万助　毎日新湯
和洋料理　本店 松月亭　營口元神廟街一四三号
和洋料理 御旅館　支店 滿洲ホテル　遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業　營口ホテル支店　主任 井上源吉
御料理 會席　菊水館　主任 朝枝園提
旅館 西洋料理　遼陽館　主任 永瀬宇吉
和洋料理　遼東館　遼陽城内東街
旅館料理業　公陽館　主任 宮川秀基
御料理 會席　末廣屋　主任 山根初之亟
御料理 色々應御注文　凱旋亭　主任 古谷庄太郎
旅館 御料理　遼塔ホテル　主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル　遼陽倶樂部　營口東雲館支店　主任 谷口今朝太郎
會席　玉家　主任 西野治三郎
御料理 會席　來々亭　主任 石田清

奉天旅館料理屋案内

旅館　奉天館　奉天城内鐘樓南大街　奉天軍政署指定旅館（電話一五）
和洋御料理　日清倶樂部　奉天大南門裡大街（電話一四）
商人御定宿　瑞豊館　奉天小西關大街北側　館主 井野嘉吉（電話　號）
旅館　天神館　奉天小西門大街北側　館主 荒川一松
旅館料理店　日の出樓　奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話七號）
旅館料理店　日盛館　奉天小西關大街南側　館主 入江貞男（電話　號）
旅館 料理店　梅松館　奉天城内灰市街東華門宮殿東側（電話）
旅館料理店　大和館　奉天大西關高臺子廟前　館主 今井コノ
旅館　大正館　奉天小西邊門外十間房道北側　館主 大草村行
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき様に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上
旅館兼料理店　高砂館　奉天城外十間房第十五號
奉高館　奉天城外十四號高砂館支店　館主 宇本智平
旅館料理店　日奉館　奉天小西門外大街　館主 原田清五郎
高等旅館　東洋館　奉天大西門外小什字街（電話　號）　主任 藤島初野
御料理　梅ケ枝　奉天小西門より一丁西の辻北入　館主 辻井ムメ
旅館料理店　勉強館　奉天小西關外北長發園隣

一和洋御料理　遼東館　遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓 仲居 **新來**
金城館料理部

會席御料理　高等御旅館
奉天小西門外　金城館

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續　事務取扱　但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ
一鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合

會席料理　**三日月**　營口警務課前南に入る

新着の御知らせ
東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他
立雛印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〱産地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、
營口 **加藤洋行**（電話八十番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種
營口元神廟前
飯塚工程局材料部（電話百三十五番）

○上等石炭　一噸に付　銀十六圓
○上等日本米　一石に付　銀二十圓
卸小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
○板材木　○木炭
○亞鉛板　○洋釘
○干塩魚　○石灰
喜久洋行　永世街八十號（電話百五十二番）

大連 **東洋ホテル**
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

發賣　標子　木板　料木
營口青堆子
清水寧木局（電話九十四番）

東營口郵便局東隣　**島田洋服店**
新民屯停車場前　**同支店**

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

爲替相場（三月二十一日）
日本向　百圓　七十一兩二十五錢（軍票百圓に付）
上海向　一百〇二圓二十五錢（同）
天津向
芝罘向　一百〇三圓二十五錢（百弗に付）

日本品最近物價　加藤洋行
一半紙　一〆　二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙　一〆　七圓五十錢
一仙花紙　一帖（六十枚）　六十錢
一全　二十枚續　三錢二厘以上四錢
一状袋　百枚　十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具　矢野洋行
一蒲團　三枚組　六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン　十帖　六圓五十錢以上三十五圓
一疊 薄縁　二圓六十錢以上三圓
一麻緞通　十枚　八圓
一綿緞通　三圓
一全 一疊敷　三圓五十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription　4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.20 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付　銀四仙
一ヶ月前金　銀八十仙
半ヶ年前金　四弗八十仙
一ヶ年前金　銀九弗六十仙